

2011年度(平成23年度) 日本解剖学会臨時総会記録

日 時：2011年（平成23年）10月15日（土）14:10～14:30

場 所：千葉県松戸市栄町西2-870-1 日本大学松戸歯学部MDホール

開会の辞 岡部庶務担当理事より、事前に寄せられた当日出席者（25名）分を含む書面表決状は総数1,613通、うち議事の賛否数（賛成/反対）は一号議案1,611/2である事が報告された。本日の出席者は合計1,613名で正会員総数2,037名の過半数（1,019名）を上廻り、定款31条に定められた定足数を超えて成立していることが確認され、開会が宣せられた。

議長選出 岡部庶務担当理事より議長として高野吉郎東京医科歯科大学教授を推薦したい旨、提案があり、承認された。続いて議長より書記に寺田純雄東京医科歯科大学教授を推薦したい旨、提案があり、承認された。

I. 議事録署名人の選任

岡部庶務担当理事より議事録署名人として、小林靖防衛医科大学教授、阪上洋行北里大学教授を推薦したい旨、提案があり、承認された。

II. 理事長報告

高田理事長より一般社団法人への移行の現状と今回の臨時総会開催の経緯につき報告と説明がおこなわれた。

III. 審議事項

1. 一般社団法人への移行に必要となる学会定款の変更の件

岡部常務理事より学会定款変更に必要な条件について、まず本年1月29日の理事会においてその時点における理事数の4分の3以上にあたる17名中14名の議決を得ていてこと、同じく3月27日の評議員会においてもその時点における評議員数の4分の3以上にあたる391名中303名の議決を得ていることが説明された。更に本日の臨時総会において正会員総数の4分の3以上にあたる1611名の賛成を得たため、定款第44条に定められた定款の変更に必要な議決条件が充たされている旨説明があった。なお、一般社団法人への移行の過程において生じうる字句修正または誤植等の定款細部の変更については、理事会に一任することが提案された。資料をもとに審議がおこなわれ、承認された。

2. その他

内山安男順天堂大学教授より臨床医学の教育研究に際しての死体解剖の取扱いについて新たな委員会設立の提案があった。また関連して全国医学部長・病院長会議において議論が予定されている死体利用の法制化に対し、解剖学会として慎重な姿勢を表明すべきとする意見表明があった。

閉会の辞 高野議長より閉会の辞が述べられ、平成23年度臨時総会が終了した。

上記の2011年度（平成23年度）臨時総会の議決及び確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

2011年（平成23年）10月 日

社団法人 日本解剖学会

議長

署名人

署名人